

公益社団法人 日本技術士会中部本部 電気電子情報工学部会 9 月度例会（オンライン講演会）のご案内

【主催】中部本部 電気電子情報工学部会

当部会では、定期的に例会（講演会、オンライン講演会、見学会）を実施しており、9 月度の Zoom によるオンライン講演会を下記のように企画しましたのでご案内申し上げます。中部本部 電気電子情報工学部会の会員に限らず、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

1. 日時：令和 3 年 9 月 11 日（土）13:30～17:00
2. 場所：Zoom によるオンライン講演会
参加申込者には 9 月 5 日（日）以降に Zoom 事前登録用 URL をお送りします。
3. プログラム（講演の概要については後報します。）

- | | |
|-------------|--|
| 13:15～13:30 | Zoom 受付 |
| 13:30～13:35 | 開会のあいさつ（水野代表幹事）、伝達事項 |
| 13:35～14:20 | 講演 1：止まらない工場における特高受変電設備の更新 講演者：須永浩介 氏（技術士 2 次試験新合格者） |
| 14:20～14:30 | 休憩 |
| 14:30～15:15 | 講演 2：独立技術士の技術士資格活用方法の一例 講演者：落合政彦 氏（技術士 2 次試験新合格者） |
| 15:15～15:25 | 休憩 |
| 15:25～16:55 | 講演 3：高等学校におけるウイルス感染シミュレーションの 実践と今後の情報教育に関する展望 講演者：愛知県立小牧高等学校 教諭 井手広康 氏 |
| 16:55～17:00 | 閉会のあいさつ 連絡事項 他 |
| 17:10～17:50 | Web 懇親会（無料：参加は自由です。） |

4. 例会参加費用：
技術士会会員、中部エレクトロニクス振興会会員会社の方：1,000 円
学生：無料、一般(会員外)：2,000 円

5. 申込み先

申込みは 9 月 8 日（水）までに、下記の Web フォームからお願い致します。

今回は下記から整理券の入手を、お願いします。（クレジットカード/paypay 払い）

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01zik9hu97u11.html>

キャンセルする場合は、部会講演会幹事 秦

メール：dib_uketsuke@googlegroups.com、当日キャンセルは携帯：090-9103-7234 まで、
氏名、部門、会員・非会員の区別をご連絡下さい。

なお、オンライン講演会の準備の都合上、参加申込みは期限までにお願致します。

定員に達した場合、参加頂けない場合がございますのであらかじめご了承ください。

講演概要

講演 1 テーマ：「止まらない工場における特高受変電設備の更新」

講演者：須永浩介 氏（技術士 2 次試験新合格者）

【ご経歴】

- 1999年04月 トップラン・フォームズ株式会社入社（生産開発本部）
- 2002年10月 トップラン・フォームズ東海株式会社移籍（品質管理部）
- 2015年10月 ローム浜松株式会社入社（工場管理部（現：FI 推進部））
- エネルギー管理士／第 1 種電気主任技術者／技術士（電気電子）

【講演概要】

電気事業法では、自家用電気工作物の電気設備に年一度以上の頻度で全ての電気を遮断した上で点検をする「停電年次点検」が定められている。弊社など多くの半導体製造工場では停電年次点検による生産装置のダメージが大きいため、絶縁監視装置等を導入して停電年次点検を 3 年に一度に延長している（経営者の要望は無停電＝止まらない工場）。本講演は、このような「止まらない工場」に対する電気設備の老朽化や増強などの課題と解決策を紹介する。

講演 2 テーマ：「独立技術士の技術士資格活用方法の一例」

講演者：落合政彦 氏（技術士 2 次試験新合格者）

【ご経歴】

- ・鉄道事業従事期間：2002年4月～2014年3月
- ・再生可能エネルギー発電事業従事期間：2014年4月～2019年3月
- ・化学メーカー従事期間：2019年4月～2021年4月
- ・独立：2021年4月～

【講演概要】

- ①これまでに従事した業務経験を活用し、技術士取得および独立への契機となった内容などを説明する。
- ②専門（電気）以外の知識として、特に役立った事項や関係資格を紹介する。
- ③講演テーマである技術士資格活用方法の一例として、現在独立技術士として従事している業務を紹介する。

講演 3 テーマ：「高等学校におけるウイルス感染シミュレーションの実践と今後の情報教育に関する展望」

講演者：愛知県立小牧高等学校 教諭 井手広康 氏

【ご経歴】

愛知県立小牧高等学校教諭（情報科）。
愛知県立大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了，博士（情報科学）。
令和 4 年度からはじまる「情報 I」の教科書や，文部科学省による高等学校「情報」実践事例集などの執筆に携わる。日本情報科教育学会第 11 回全国大会論文賞＜優秀研究賞＞，情報処理学会ゲーム情報学研究会 GPW-17 ベストポスター賞，第 16 回情報科学技術フォーラム（FIT2017）FIT 論文賞など受賞。
日本産業技術教育学会理事，日本情報科教育学会評議員，情報処理学会コンピュータと教育研究会運営委員。

【講演概要】

令和 4 年度より施行される高等学校学習指導要領において，情報科は共通科目「情報 I」と選択科目「情報 II」に再編され新たなスタートを切る。今回の学習指導要領の改訂を受け，情報科では，情報技術を活用

して「問題の発見と解決」を行うことが重視され、社会や身のまわりから問題を発見し、シミュレーションやプログラミングといった手段を用いて問題を解決するという取り組みが求められている。本講演では、マルチエージェント・シミュレータを用いた「ウイルス感染シミュレーション」の授業実践について紹介するとともに、新しい教科書の内容や情報の入試化を踏まえて、今後の情報教育について展望する。

<以上>